

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果（公表）2021 年度

公表：令和 3 年 12 月 1 日

事業所名：聴覚・ろう重複センターつくしっこ

保護者等数（児童数）：16 名 回収数：9 名 割合：55%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	67%	33%	0%	・日によって人数が違うと思うので、スペースが足りなさそうだなと思うこともあります。	・ご意見ありがとうございます。スペースが足りないと感じることもありますが、人数によっては部屋を分ける等の対応をして工夫をするようにしています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	89%	11%	0%		
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がい者の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	33%	67%	0%	・いくつか死角があつてちょっと危ないと思います。	・ご意見ありがとうございます。パーティションの関係で死角になってしまう部分があるので、子どもたちの間にスタッフが入るようにして安全に努めるようにしています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	78%	22%	0%	・玄関を広くしたほうがいいと思います。	・ご意見ありがとうございます。パーティションや下駄箱の固定の関係で構造上難しいところがありますが、人数を区切って少人数ずつ出る等の工夫をしています。
適切な支援の	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	100%	0%	0%		

	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	100%	0%	0%		・ご回答いただきありがとうございます。今後とも一人ひとりに合った支援計画を作成、支援をしていきたいと思えます。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100%	0%	0%		
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	100%	0%	0%		
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	0%	78%	22%	・わかりません。	・ご意見ありがとうございます。公園で地域の子どもたちと一緒に遊ぶことがあります。
保護者への説明等	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	89%	11%	0%		
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	100%	0%	0%		
	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	45%	45%	10%		
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	89%	11%	0%		・ご回答いただきありがとうございます。子どもたちの様子を保護者様に伝えて健康や発達の状況、課題について一

						緒に考えていけたら と思っています。
	14	定期的に、保護者に対して 面談や、育児に関する助言 等の支援が行われているか	100%	0%	0%	
	15	父母の会の活動の支援や、 保護者会等の開催等により 保護者同士の連携が支援さ れているか	33%	56%	11%	
	16	子どもや保護者からの相談 や申入れについて、対応の 体制が整備されているとと もに、子どもや保護者に周 知・説明され、相談や申入 れをした際に迅速かつ適切 に対応されているか	45%	55%	0%	・ご回答いただきあ りありがとうございます。 至らぬ点があり ましたらその都度ご 意見を頂戴して、皆 様に満足いただける よう善処していき たいと思います。
	17	子どもや保護者との意思の 疎通や情報伝達のための配 慮がなされているか	89%	11%	0%	
	18	定期的に会報やホームペー ジ等で、活動概要や行事予 定、連絡体制等の情報や業 務に関する自己評価の結果 を子どもや保護者に対して 発信されているか	100%	0%	0%	
	19	個人情報の取り扱いに十分 注意されているか	67%	33%	0%	
非常時等の 対応	20	緊急時対応マニュアル、防 犯マニュアル、感染症対応 マニュアルを策定し、保護 者に周知・説明されている か。また、発生を想定した 訓練が実施されているか。	67%	33%	0%	
	21	非常災害の発生に備え、定 期的に避難、救出、その他 必要な訓練が行われてい るか	67%	33%	0%	・わかりませ ん。 ・ご意見ありが とうございます。 定期的に避難訓 練を実施して災 害時に適切な行 動ができるよう に努めています。

満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	78%	22%	0%		・ご回答いただきありがとうございます。子どもたちが楽しんで過ごしていけるよう今後も取り組んでまいります。
	23	事業所の支援に満足しているか	89%	11%	0%	・送迎車が足りなくて困っております。スクールバスがあったらいいなと思います。	・ご意見ありがとうございます。送迎車を増やすことができないため、ご希望に添えないこともあります。何卒ご理解していただけたらと思います。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）2021年度

公表：令和3年12月1日

事業所名：聴覚・ろう重複センター つくしっこ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	75%	25%	人数によっては部屋を分ける等の工夫をしている。	構造上仕方ないが、人数によってはスペースが狭いと感じる。
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%		
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	75%	25%	状況に合わせてスタッフが動きながら情報格差がないように努めている。	壁が多くて、聴覚障害のスタッフや利用者にとって不便な点が多い。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%		
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	100%	0%		
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	75%	25%	年一回のアンケート結果を職員間でも共有して業務改善に繋げるように工夫している。	保護者に対して事業所の評価を把握する機会が取れない。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%		

	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0%	100%		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	月1回、職員で検討会議を行っている。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%	0%		
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%	0%		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%		
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	75%	25%		
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	100%	0%		
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	前日の子どもの様子やその日に来る子どもについて職員間で確認をして連絡ノートを通して全スタッフが情報共有できるようにしている。	

	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	75%	25%	当日ではなく、次の日に振り返りを行っている。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%		
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%		
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	75%	25%		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0%	0%		・医療的ケアを必要とする利用者が在籍していない
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0%	0%		・医療的ケアを必要とする利用者が在籍していない
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	75%	25%		
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	75%	25%		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	25%	75%		

	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0%	100%		
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	100%	0%		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%		
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	25%	75%		
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%	0%		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	日頃から会話の中で保護者様と信頼関係を築きながら何かあったときに相談しやすい環境づくりに努めている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	100%		
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあ	100%	0%		

		った場合に迅速かつ適切に対応している				
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	定期的にブログの更新をして活動概要等を発信するようにしている。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0%		
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	絵カードや時間カード等を必要に応じて使いながら手話と合わせて丁寧な支援ができるようにしている。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	100%		
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	75%	25%		各マニュアルを整理して再度周知していけるようにする。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	定期的に避難訓練を行い、災害時に適切な行動ができるように努めている。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	100%	0%		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	50%	50%	おやつや箱や部屋にアレルギーに関する掲示をしてどのスタッフも意識できるようにしている。	保護者からの伝達

45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	ヒヤリハット事例集を作成し、その都度職員間やスタッフで情報を共有して大きな事故防止に努めている。	
46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	子どもの対応について気になったことや迷ったこと等その都度職員で話し合い、適切な対応ができるようにしている。	
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	75%	25%		

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）2021年度

公表：令和3年12月1日

事業所名：聴覚・ろう重複センターつくしっこ

保護者等数（児童数）：46名 回収数：17名 割合：37%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	53%	41%	6%	<ul style="list-style-type: none"> ・本を読むところの照度をあげて欲しいです。 ・施設の建物上、限界があるのは理解していますが、人数の割合からいくとスペースが足りていない。 ・実際にどのくらいの子供が活動しているのかわかる機会がないのでわかりません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見ありがとうございます。本を読むところも電気をつけていますが、照度をあげるために照明器具購入を検討したいと思います。 ・ご意見ありがとうございます。スペースが足りないと感じる部分を少しでもかしょうするために人数によっては部屋を分ける等の工夫をして対応しています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	65%	29%	6%	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者に対して何人いるか等把握していないためわからない。 ・こちら（保護者）も実際の様子を見られないのでよくわからない。 ・ドライバー（送迎のみ）1名の方が、乱暴に感じます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見ありがとうございます。適切な人員配置の上、対応しています。 ・不快な思いをさせてしまい、誠に申し訳ありません。当該ドライバーも含めて子どもとの関わり方や保護者様対応、安全運転の指導を改めて徹底してまいります。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリ	35%	59%	6%	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内を把握していないため、わからない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見ありがとうございます。段差があるところもありますが、

		一化の配慮が適切になされているか				・階段はないので、手すりが無くても大丈夫だと思う。	スタッフが見守り怪我防止に努めています。
適切な支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	94%	6%	0%		
	5	活動プログラムが固定化されないよう工夫されているか	94%	6%	0%	・土曜企画や休日企画を楽しみにしています。	・嬉しいお言葉ありがとうございます。今後も楽しい企画を考えていけるように頑張っていきたいと思います。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	18%	59%	23%	・分かりません。	・ご意見ありがとうございます。公園遊びの際に、地域の子どもたちと関わる機会があります。
保護者へ	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	82%	18%	0%		

	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	88%	12%	0%		
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	77%	23%	0%		
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	12%	29%	59%		
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備する	77%	23%	0%		

	とともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか					
12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	88%	12%	0%	・	
13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	65%	29%	6%	・すみません、ブログは見たことないです。	・ご意見ありがとうございます。会報を季刊発行し、ブログも随時更新しています。ブログはホームページから見ることができますので、ぜひご覧ください。
14	個人情報に十分注意しているか	71%	29%	0%		

非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	35%	30%	35%	・最初にあったか忘れてしまいました。 マニュアル等は頂いたことがない気がします。	・ご意見ありがとうございます。各マニュアルを整備し、再度周知してまいります。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	53%	47%	0%	・把握していないためわかりません。 ・していると伺った気はしますが、記憶が曖昧ですみません。	・ご意見ありがとうございます。定期的に避難訓練を行っており、災害時に適切な行動ができるように努めています。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	88%	6%	6%		・つくしっこの利用を楽しみにしていただき、ありがとうございます。
	18	事業所の支援に満足しているか	88%	12%	0%	・利用者によって、差別があるように感じます。とても不快に思います。	・不快な思いをさせてしまい、誠に申し訳ありません。差別はあってはならないことなの

						で、全スタッフへの指導を改めて徹底し、差別的な対応がないようにしていきます。
--	--	--	--	--	--	--

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表） 2021年度

公表日：令和3年12月1日

事業所名：聴覚・ろう重複センター つくしっこ

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している 点など	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	50%	25%	25%	人数によっては部屋を分ける等の工夫をしている。	構造上仕方ないが、人数によってはスペースが狭いと感じる。
	2	職員の配置数は適切であるか	75%	25%	0%		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	25%	0%	75%	聴スタッフが生況に合わせて動いてろうスタッフに伝える等情報格差が無いように努めている。	ライトのインターホン等あればよい。 来客時ろうスタッフが気づくことができないときもあるため、ライトの購入を含めて検討課題である。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	75%	25%	0%	職員間で情報を共有し、業務改善に繋げるようにしている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%	0%	0%	年一回のアンケート結果を職員間でも共有して業務改善に繋げるように工夫している。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	75%	0%	25%		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	25%	0%	75%		

	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	50%	25%	0%	月1回、職員で検討会議を行っている。	
--	---	------------------------------	-----	-----	----	--------------------	--

適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	75%	0%	25%		
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%	0%	0%		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	50%	50%	0%		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	75%	25%	0%		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	75%	25%	0%		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%	0%	0%		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%	0%	0%	前日の子どもの様子やその日に来る子どもについて職員間で確認をして連絡ノートを通して全スタッフが情報共有できるようにしている。	

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	75%	25%	0%	当日ではなく、次の日に振り返りを行っている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%	0%	0%		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%	0%	0%		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	100%	0%	0%		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	75%	25%	0%		
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	100%	0%	0%		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0%	25%	25%		・医療的ケアが必要な利用者が在籍していない
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情	50%	50%	0%		

	報共有と相互理解に努めているか					
24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	100%	0%	0%		

25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	25%	0%	75%		
26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	50%	0%	50%		
27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	100%	0%	0%	定期的に自立支援協議会へ参加して、他の事業所との連携や情報交換、事例検討を行ってより良い支援に繋がっていきけるようにしている。	
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0%	0%		
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	0%	25%	75%		

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%	0%	0%		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%	0%	0%	日頃から会話の中で保護者様と信頼関係を築きながら何かあったときに相談しやすい環境づくりに努めている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0%	25%	75%		

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%	0%	0%		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%	0%	0%	定期的にブログの更新をして活動概要等を発信するようにしている。	
	35	個人情報に十分注意しているか	100%	0%	0%		
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や	100%	0%	0%	絵カードや時間カード等を必要に応じて	

		情報伝達のための配慮 をしているか				使いながら手話と合わせて丁寧な支援ができるようにしている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0%	0%	100%		
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	75%	25%	0%		各マニュアルを整理して再度周知していけるようにする。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0%	0%	定期的に避難訓練を行い、災害時に適切な行動ができるように努めている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%	0%	0%	子どもの対応について気になったことや迷ったこと等その都度職員で話し合い、適切な対応ができるようにしている。	

	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	75%	25%	0%		
--	----	---	-----	-----	----	--	--

42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	25%	50%	25%	おやつの箱や部屋にアレルギーに関する掲示をしてどのスタッフも意識できるようにしている。	保護者からの伝達
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%	0%	0%	ヒヤリハット事例集を作成し、その都度職員間やスタッフで情報を共有して大きな事故防止に努めている。	